

# 奈良市アートプロジェクト

## 基本構想

第4版

令和3年2月

奈良市アートプロジェクト実行委員会

# 1 : 構想趣旨

## <前提>

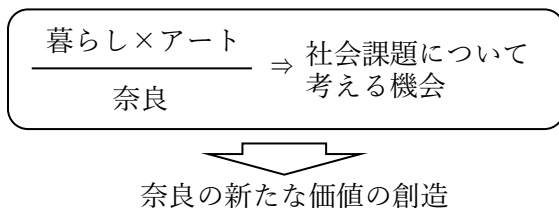
奈良市は2016年、「東アジア文化都市」に選定され、「古都奈良から多様性のアジアへ」をテーマとして一年間さまざまな事業に取り組んだ。中でもコア期間の「古都祝奈良」と題したプロジェクトは、奈良が圧倒的な「場の力」を持つまちであることを内外に発信し、奈良が古来、多様性と包摂性を持って世界と向き合い、寛容と共生の精神をもって最先端の文化を取り入れてきたまちであることを、アートを通じて明らかにしようとした。

その結果、古都奈良の骨格を明かし、奈良そのものを再定位するとともに、奈良が発信していくべき方向性を見出すこととなった。さらに2017年からは、この東アジア文化都市の趣旨を引き継いで奈良市アートプロジェクトとして、文化（アート）を通じて様々な社会課題について考える機会を提供することができた。

## <趣旨>

奈良市アートプロジェクトでは、現代社会がもつ様々な課題や事柄を、私たちの身近な生活（暮らし）にアートの視点を加えることでさらに掘り下げ考える機会とするとともに、今後、未来に対して、奈良が訴えていくべきこと、奈良がすべきこと、奈良だからできることを浮かび上がらせることで、都市としての奈良の新たな価値の創造につなげていくことを目指す。

## <事業イメージ>



## <事業目的>

**アートによる奈良の新たな価値の創造**

## <期待される事業効果>

- (1) 市民が「創造する主体」となる機会の拡充
- (2) 主体的に文化芸術に触れる場の提供
- (3) 奈良の文化的魅力の創造と発信
- (4) 次代の文化芸術を担う人材の育成
- (5) 芸・産官学との連携による地域内のつながりの広がり・深まり

## <事業分野>

東アジア文化都市2016奈良市においては美術、舞台芸術、食を基幹事業としたことから、本事業においては美術と演劇を核とし、その他の文化芸術分野も含めてプログラムを構成する。

## <奈良市の文化振興につなげる取組み>

奈良市は「奈良市文化振興計画」に基づいた文化振興施策を展開している。本事業も奈良市との共同主催事業として、市の文化振興施策のひとつに位置付けられる。

同計画は「市民文化の振興」と「都市文化の振興」をめざすためのものであり、本事業も市民が「創造する主体」として参加し、さらには奈良の文化的魅力の創造・発信へつなげるものであり、事業成果が奈良市の施策目標に還元される。

## 2：事業概要

### <名称>

奈良市アートプロジェクト ことほぐなら 古都祝奈良

「古都祝奈良」は2016年の東アジア文化都市のコア期間のために作成されたタイトルである。世界遺産の社寺や平城宮跡での事業は「ことほぐなら」の響きとともに、SNSや雑誌等様々な広報媒体を通じて拡散し、「場の力」を活かした奈良の新しい事業として話題を集めた。

東アジア文化都市開催翌年度以降も本名称を継続し使うことで、「奈良市アートプロジェクト」のイメージの定着をめざす。

### <事業構成>

「東アジア文化都市2016奈良市」においては「美術」「舞台芸術」「食」を基幹事業として展開した。後継事業である本事業では、特に「美術」「演劇」を中心としたプログラムを実施する。

事業は中心的なプログラムとなる「クリエイション・プログラム」と人材育成や学びの場となる「ラーニング・プログラム」から構成され、「クリエイション・プログラム」については「美術」と「演劇」を隔年でメインテーマとする。

#### クリエイション・プログラム（「美術」と「演劇」を隔年で実施）

- ・ 国内外で活躍するアーティストの展覧会や公演等を招聘し実施する。また、市民が主体的に参画できる関連企画を展開することで、「鑑賞」に留まらず主体的に関わることができるプログラムとする。
- ・ 市民が創作活動の担い手となり、アーティストとともに奈良の新たな価値の創造に取り組む。
- ・ アーティストが作品制作のために奈良で事前リサーチを行うことで、奈良で開催する意義を明確にする。

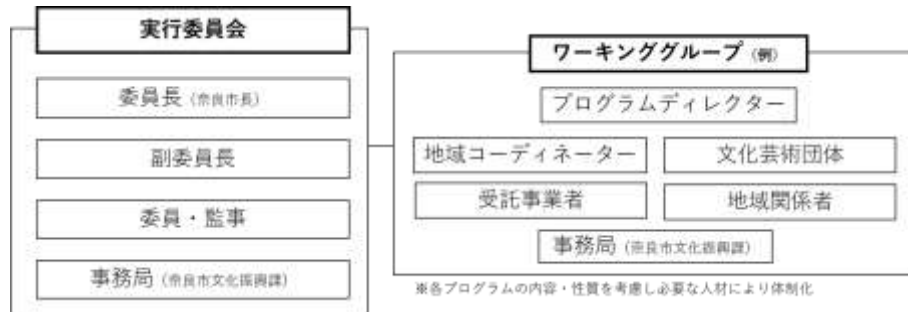
#### ラーニング・プログラム

- ・ アートによる学びの場の提供を行う。
- ・ 次代の文化芸術を担う若者たちが多分野にわたるワークショップを通じて豊かな感性を手に入れる等、表現力の向上につながるプログラムを実施する。
- ・ 地域とアートをつなぐコーディネーター的な役割を担う人材の育成につなげる。

### 3：実施体制

奈良市アートプロジェクト実行委員会が奈良市とともに実施。実行委員会の委員については必要に応じて参加要請を行う。事務局は奈良市市民部文化振興課内に置く。

事業の企画運営にあたって、各プログラムの内容や性質によりプログラムディレクターをはじめとするワーキンググループを必要に応じて設けるなど、地域や関係団体との連携を深めながら事業を推進する。



- ・ 実行委員会：「奈良市アートプロジェクト実行委員会会則」に基づき、事業計画及び事業報告に関すること、予算及び決算に関すること、会則の改廃に関すること、その他の必要な事項を決定する。
- ・ ワーキンググループ：各プログラム実施のため、プログラムディレクターを中心に必要な人材により構成し、事業効果を高めることを図る。
- ・ プログラムディレクター：各プログラム実施のための指揮・監督を行う。
- ・ 地域コーディネーター：アーティストやプログラムディレクターによる企画の実現化にあたって、奈良に最適化するようコーディネートを行う。